小野　博司

高等司法研究科・教授

[研究]

1)「『関西学界展望』の著者は誰ぞ」大警視だより続刊19号(2024年7月)53-54頁(招待あり)を発表した。

2)「近代日本の訴願利用―道府県参事会裁決を対象とする調査の中間報告―」阪大法学74巻3・4号(2024年11月)215-231を発表した。

3)「台湾史研究の必読古典『外地法制誌』」台湾協会報831号(2024年11月)3頁(招待あり)を発表した。

4)「ハイデルベルクの佐々木惣――「洋行日記」の紹介と翻刻―」法の思想と歴史4号(2024年12月)1-58頁(筆頭著者・大泉輔＝小石川裕介＝兒玉圭司＝辻村亮彦氏と共著)を発表した。

5)「佐々木惣一、幻の処女作」大警視だより続刊20号(2025年1月)45-47頁(招待あり)を発表した。

6)「憲法学者の時論―美濃部達吉と宮沢俊義―」出口雄一＝小石川裕介編『法学者たちと出版―戦後日本法学の知的プラットフォームをたどる―』(弘文堂、2025年1月)149-161頁を発表した。

7)「満洲国における司法官養成機関―司法部法学校(1934-1939)を中心に―」阪大法学74巻6号(2025年3月)1-47頁を発表した。

[教育]

高等司法研究科において「法理論」(オムニバス科目・責任教員)と「比較法史」を、法学研究科において「日本法史」＝「日本法制史特殊講義」を、法学部において「日本近代法史」を担当した。

[管理運営]

1)「適塾記念センター兼任教員・同運営委員として、同センターの管理運営に貢献した。適塾記念センター兼任教員・同運営委員として、同センターの管理運営に貢献した。

2)大阪大学アーカイブズ兼任教員・同運営委員として、アーカイブズの運営に関与して、公文書の保存管理公開という面での大阪大学の社会的活動に貢献した。

3)大阪大学グローバル日本学教育研究拠点兼任教員・同運営委員として、同拠点の管理運営に貢献した。

4)高等司法研究科の教務委員会委員、法学研究科・高等司法研究科資料室員として所管業務に貢献した。

[社会貢献]

1)法制史学会第75回総会準備委員(2024年5月)として、2024年5月の大阪大学での法制史学会第75回総会の開催に貢献した。

2)法制史学会理事(2024年7月～)として、学会の運営に貢献した。

3)『法制史研究』編集委員(日本パートリーダー)(2024年11月～)として、学会機関紙の編集に貢献した。

4)『法制史研究』検討ワーキンググループ(2025年3月～)のメンバーとして、学会の運営に貢献した。